

福岡県信用保証協会

I 法人の概要（令和2年4月1日現在）

- 1 所在地 福岡県福岡市博多区博多駅南二丁目2番1号
- 2 設立年月日 昭和24年3月29日
- 3 代表者 会長 山崎 建典
- 4 基本財産 65,289,588千円
- 5 北九州市の出捐金 437,070千円（出捐の割合 0.7%）
- 6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	23 人	0 人	0 人	23 人
常 勤	6 人	0 人	0 人	6 人
非常勤	17 人	0 人	0 人	17 人
職 員	182 人	0 人	0 人	182 人

II 令和元年度事業実績

令和元年度は、当協会を利用する中小企業・小規模零細企業を取り巻く環境が依然として厳しい状況にあったことから、金融機関、地方自治体、関係機関等と連携し、中小企業の円滑な資金繰り支援、経営改善、創業支援などに積極的に取り組んだ。

特に新型コロナウイルス感染症の及ぼす影響が拡大した令和2年3月からは経営安定関連保証、危機関連保証および自治体制度融資等を活用した、中小企業の資金繰り支援に取り組んだ。

保証部門については保証承諾3,827億円（前年比116.3%）と前年度を上回る実績となった。保証債務残高については、セーフティネット保証の償還等による減少が続いていたが、令和2年3月の経営安定関連各号の申込が急増し、7,505億円（前年比99.1%）となり、現在でも申込が殺到している状況にある。

経営支援・期中管理部門については、経営支援部門の組織体制を拡充し、併せて金融機関・専門家団体等と連携し、経営改善・再生支援に積極的に取り組んだ。また、返済緩和をしている中小企業への企業訪問を推進した。しかしながら、経営の改善に遅れがある中小企業者が依然として多く、代位弁済額は135億円（前年比124.3%）に増加した。

回収部門については、第三者保証人や不動産担保のない保証の浸透による回収環境の変化は続いており、厳しい状況が続いている。このため、回収基本行動の徹底を図り、効率的かつ効果的な債権の管理と回収の実践を推進し、求償権実際回収額は35億円（前年比94.1%）となった。

また、健全な事務運営のための職場環境の整備等を進め、経営基盤の強化に努めた。

以上の結果、令和元年度の決算における収支差額は12億円となった。

【保証承諾・代位弁済等の状況】

区 分	項 目	令和元年度	前年比
保 証 承 諾	件 数	30,725 件	106.6%
	金 額	382,728 百万円	116.3%
期末保証債務残高	件 数	90,987 件	97.0%
	金 額	750,498 百万円	99.1%
代 位 弁 済	件 数	1,539 件	106.8%
	金 額	13,465 百万円	124.3%

【求償権回収等の状況】

区 分	項 目	令和元年度	前年比
求 償 権	完済件数	81 件	139.7%
	回収額	1,111 百万円	111.8%
	償却件数	1,446 件	106.3%
	償却額	11,367 百万円	102.4%
期 末 求 償 権	件 数	1,630 件	100.7%
	金 額	5,164 百万円	123.6%

Ⅲ 令和元年度決算

1 貸借対照表（総括表）

令和2年3月31日現在（単位：円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	918,849	基本財産	65,289,588,654
現金	918,849	基金	11,053,269,425
小切手	0	基金準備金	54,236,319,229
預け金	41,040,701,026	制度改革促進基金	0
当座預金	283,102,608	収支差額変動準備金	32,539,732,276
普通預金	16,241,559,736	責任準備金	4,536,752,754
通知預金	0	求償権償却準備金	1,457,811,013
定期預金	24,500,000,000	退職給与引当金	1,386,331,612
郵便貯金	16,038,682	損失補償金	28,926,404,584
金銭信託	0	保証債務	750,498,342,498
有価証券	71,844,550,000	求償権補てん金	0
国債	0	保険金	0
地方債	44,542,850,000	損失補償補てん金	0
社債	27,287,800,000	借入金	0
株式	13,900,000	長期借入金	0
受益証券	0	（うち日本政策金融公庫分）	0
その他有価証券	0	短期借入金	0
新株予約権	0	（うち日本政策金融公庫分）	0
ファンド出資	0	収支差額変動準備金造成資金	0
動産・不動産	2,608,411,964		
事業用不動産	2,473,758,497	雑勘定	17,669,435,791
事業用動産	134,653,467	仮受金	12,375,925
所有動産・不動産	0	保険納付金	130,087,517
損失補償金見返	28,926,404,584	損失補償納付金	177,974,284
保証債務見返	750,498,342,498	未経過保証料	17,308,632,290
求償権	5,163,766,560	未払保険料	5,945,089
譲受債権	0	未払費用	34,420,686
雑勘定	2,221,303,701		
仮払金	25,393,001		
保証金	0		
厚生基金	38,098,600		
連合会勘定	191,866		
未収利息	113,020,156		
未経過保険料	2,044,600,078		
合 計	902,304,399,182	合 計	902,304,399,182

2 収支計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額
経常収入	9,984,204,182
保証料	7,370,660,374
預け金利息	10,591,897
有価証券利息配当金	538,516,652
調査料	0
延滞保証料	0
損害金	96,760,533
事務補助金	703,756,130
責任共有負担金	1,207,169,000
雑収入	56,749,596
経常支出	7,896,325,322
業務費	3,224,912,875
役職員給与	1,489,876,121
退職給与引当金繰入	93,747,360
その他人件費	312,332,647
旅費	13,448,476
事務費	985,240,117
賃借料	55,142,284
動産・不動産償却	75,733,562
信用調査費	16,056,669
債権管理費	122,933,960
指導普及費	33,238,319
負担金	27,163,360
借入金利息	0
信用保険料	4,479,137,778
責任共有負担金納付金	192,274,669
雑支出	0
経常収支差額	2,087,878,860

経常外収入	16,483,614,344
償却求償権回収金	217,068,859
責任準備金戻入	4,573,048,928
求償権償却準備金戻入	1,389,709,700
求償権補てん金戻入	10,302,259,172
保険金	9,212,400,438
損失補償補てん金	1,089,858,734
補助金	0
その他収入	1,527,685
経常外支出	17,373,051,301
求償権償却	11,366,856,323
譲受債権償却	0
有価証券償却	0
雑勘定償却	10,250,333
退職金	157,325
責任準備金繰入	4,536,752,754
求償権償却準備金繰入	1,457,811,013
その他支出	1,223,553
経常外収支差額	△889,436,957
制度改革促進基金取崩額	0
収支差額変動準備金取崩額	0
当期収支差額	1,198,441,903
当期収支差額変動準備金繰入額	400,000,000
基本財産繰入額又は基本財産取崩額	798,441,903

IV 令和2年度事業計画

中小企業のベストパートナーとして、より深く企業の実態の把握に努め、企業のニーズへの対応のために適時・適切な保証を行う。

また、創業・経営改善・事業再生・事業承継など様々な課題を金融機関、商工団体、専門家団体などと連携し、企業のライフステージに応じた支援を通じ、地域経済の生活活性化や地方創生等に貢献する取組みを積極的に推進する。

返済条件の緩和を行っている企業などには事業計画策定支援、正常化支援、資金繰り支援等による経営改善に対する取組みのさらなる充実を図る。

債権回収においてはこれまで以上に効率的かつ効果的な債権の管理と回収の実践を進める。

組織の管理運営においては、経営基盤の強化を図るため、業務改善による事務の効率化、人材の育成を進めていくほか、併せてコンプライアンス態勢の一層の充実に取り組む。

(単位：百万円、%)

	金額	対前年度計画比	対前年度実績見込比	積算の根拠（考え方）
保証承諾	320,000	100.0	95.2	<p>【保証承諾】 ・低金利政策が続く中、担保・保証に過度に依存しない金融取組や保証料の割高感等により保証の需要は低迷しているが、中小企業の資金需要に応じた保証商品の充実、企業の特性・将来性等を踏まえた保証推進により前年度計画と同額の3,200億円とした。</p> <p>【保証債務残高】 ・緊急保証の残高減少は続いているが、残高に占める割合は縮小しており、一般保証の利用が比較的堅調に推移していることから、保証債務残高全体の減少幅は縮小傾向にあり、前年度から小幅の減少とした。</p> <p>【代位弁済】 ・低水準で推移していた事故報告が増加傾向にあり、また、返済緩和の条件変更を繰り返している企業の倒産も懸念されるため、昨年度よりも増加を見込み140億円とした。</p> <p>【実際回収】 ・代位弁済の増額を見込んでいるものの、代表者以外の保証人や担保のない求償権の増加による厳しい回収環境を踏まえ、30億円とした。</p>
保証債務残高	700,000	97.2	95.9	
保証債務平均残高	713,000	97.0	96.0	
代位弁済	14,000	103.7	103.7	
実際回収	3,000	96.8	90.9	
求償権残高	4,660	97.0	88.8	

V 役員名簿

令和2年6月10日現在

役職名	氏名	備考
会長	山崎建典	常勤
副会長	藤永憲一	福岡県商工会議所連合会 会長
専務理事	白谷正彦	常勤
常務理事	小島良俊	常勤
〃	山崎 厳	常勤
理事	梅田治信	常勤
〃	岩永龍治	福岡県 商工部長
〃	畑中茂広	福岡県議会議員（県民生活商工委員会委員長）
〃	高島宗一郎	福岡市長
〃	北橋健治	北九州市長
〃	大久保 勉	久留米市長
〃	城戸津紀雄	福岡県商工会連合会 会長
〃	桑野龍一	福岡県中小企業団体中央会 会長
〃	柴戸隆成	福岡銀行 頭取
〃	谷川浩道	西日本シティ銀行 頭取
〃	佐藤清一郎	筑邦銀行 頭取
〃	嘉藤晃玉	北九州銀行 会長
〃	古村至朗	福岡中央銀行 頭取
〃	藤井和成	商工組合中央金庫 福岡支店長
〃	野村廣美	福岡県信用金庫協会 会長
監事	日山尚之	常勤
〃	永豊明壽	西部ガス株式会社 顧問
〃	行正晴實	行正晴實公認会計士事務所長